

人は作業をすることで元気になれる!

日本作業療法士協会設立50周年記念事業

～街の声 地域への浸透を目指して～

参加費
無料

日本作業療法士協会は、昨年設立50周年を迎えました!北海道作業療法士会は、「市民公開講座」「記念講演」「実践報告」を記念事業として、開催いたします。プログラムは、以下となります。

なお、本事業は第48回北海道作業療法学会の特別企画となっています。
(会期：平成29年6月10日～11日、会場：札幌コンベンションセンター)

▶ **会場：札幌コンベンションセンター**

〒003-0006 札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1

▶ **日時：平成29年6月11日(日)**
12:30～15:10

● 12:30～12:40 — 作業療法実践報告

● 12:40～13:40 — 市民公開講座

● 13:40～14:10 — 50周年記念講演

● 14:10～15:10 — 地域における作業療法実践報告



市民公開講座

元日本ハムファイターズ球団社長が語る

「日本一のチームを作る」～組織改革とビジョンに向けて～

藤井 純一 氏 (池坊短期大学 学長)

北海道日本ハムファイターズは昨シーズン、日本一に輝き北海道にはなくてはならない球団となったと言えます。また、この12年間日本一2回、リーグ優勝6回と素晴らしい球団になりました。

しかし、北海道移転当時2004年には北海道の方々にとってなじみのない球団でした。北海道に移転し、企業理念に「スポーツコミュニティー」経営理念に「チャレンジウィズドリーム」活動指針に「ファンサービス」を掲げ地域の皆様に夢と感動を与えることができるよう、職員・選手一丸で活動してきました。

ファイターズがどのように変化を遂げてきたのかを事例を交えてご披露いたします。



50周年記念講演

日本における作業療法士のトップが語る

「人は作業をすることで元気になれる」

中村 春基 氏 (一般社団法人 日本作業療法士協会 会長)

人は一人では生きていけない。作業を行うことで、自分らしさを確認し、生きる糧を得、役割や価値、自己と他者など社会人として個人としての存在を自覚できる。そのような考え方が日本社会で認識され、国民の健康に寄与できたらと思う。

「人は作業を行うことで元気になれる」という作業療法の考え方は普遍的であり、そんな作業療法の素晴らしさを伝えたい。

地域における 作業療法実践 報告

各地域の
作業療法士が語る

< 作業療法実践報告 >
ある作業療法の取り組み

「札幌ドームにファイターズを観に行こう!」

< 地域における作業療法実践報告 >

今金町から

「暮らしの達人養成講座」

～地域住民とともに地域支援事業を行う推進リーダーの育成と組織化を図る～

下川町から

「行政に働く作業療法士の立場からみえてきたこと」

厚岸町から

「一人から始めた作業で広がる地域リハビリテーションを振り返って」

問い合わせ先

電話番号：0166-65-0101
E-mail：s.motozawa51@gmail.com
※メールでのご連絡にご協力をお願いいたします。

日本作業療法士協会設立50周年記念事業担当
旭川リハビリテーション病院
作業療法士 本澤 征二